

やまぐち維新プランの最終案について

1 最終案の作成にあたって踏まえた内容

1 やまぐち維新プラン（素案）に対していただいた意見

- (1) 山口県活力創出推進会議
- (2) 「元気創出！どこでもトーク」
- (3) パブリック・コメント
- (4) 市町

2 国の動きや政策の方向性

- 国の動きへの対応、国と連携を図っていくべき施策の方向性

【対応】

重点施策の充実、表現の見直し等を行うとともに、県民の皆様に分かりやすいプランとなるよう工夫

2 策定・公表に向けた対応

(1) 山口県活力創出本部会議（9月6日（木）11:00～）の開催

山口県活力創出推進会議（9月6日（木）13:00～）の開催

（内容） 計画（最終案）の提示

(2) 9月定例県議会（各常任委員会）

・計画（最終案）の提示

(3) 総合計画の決定・公表

・プランの冊子、パンフレットの作成

(4) 市町・関係機関等への周知、ホームページでの公開

1 維新プラン（素案）に対していただいた意見

（1）山口県活力創出推進会議での意見

事項及び概要
<p>◇プロジェクトや重点施策等に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none">・地域おこし協力隊について、任期後の定着へのサポート体制が必要。・中山間地域のリーダー養成が必要。・ふるさと回帰支援センターを通じて田舎に東京の若者を送り込む取組への支援の充実が必要。・観光客を呼び込むことを地域全体で考えるような6次産業を目指すべき。・大企業の副業人材を地方に活かしていくと、よい効果が生まれるのではないかな。・中高生から起業家教育をしていくことが必要。・放課後児童クラブについて、現場の声をよく聴き、地域との連携などを進めてほしい。・Uターンでは、キャリアイベントに適時適切に働きかける仕掛けが必要ではないかな。また、県に転入したタイミングで、就職や子育てサポートに関する情報提供が必要ではないかな。・企業が人もお金も含めて農業を後押しする仕組みが必要ではないかな。・生涯現役で全国をリードするような県となれないかな。・交通系ICカードなどは、インバウンド客には非常に重要な取組。・庁内連携を進めていただきたい。・地域に出て行ってかかわりを持ちながら支援をする、シンクタンクのような機能が必要ではないかな。・キャリア教育や社会貢献教育、寄付教育などの取組が、将来に子どもが地元に戻ってくることにもつながるという観点からも必要ではないかな。・中小企業の事業承継について商工会議所と産業振興財団とが連携して支援していくことが効果的。・人口減少する中であっても、安定した雇用や働きやすい職場をどう作っていくかが課題。
<p>◇分かりやすい記載等を求めるもの</p> <ul style="list-style-type: none">・計画内容についてインパクトのある伝わり方の工夫が必要。・県政世論調査と実際の達成とのかい離があるように思われるので、県民が取組を実感ができるように工夫してほしい。

(2) 「元気創出！どこでもトーク」での意見

事項及び概要

◇プロジェクトや重点施策等に関するもの

- ・創業したものの、開業スタッフが集まらないのでオープンできないというところが散見されている。また、後継者不足の問題が顕在化している。
- ・漁業新規就業支援について、減少数に対して予算規模が少ないのではないかと。また、研修をリタイアした場合の補助金返還については、理由によっては敷居を下げるようなことなども必要ではないかと。
- ・広島県、福岡県との連携を持てたらよいと思う。そのためには利便性を少し上げる必要がある。特に、広島は欧米からのインバウンドが多いが山口県は多くないと感じる。山口県の自然は、欧米の方にも勧められると思う。
- ・企業とタイアップしたイベントによる交流人口の拡大を考えており、他ではまねできない山口県ならではのイベントにできるのではないかと。
- ・地元の人手不足や若者の地元への意識を高めるために、子どもたちのキャリア教育に取り組んでいるが、学校や教育委員会との連携が課題。
- ・地域活動の成果により移住者も増えてきているが、若い人が移住してくれるということになると、共同生活のできる長屋方式のような建物（シェアハウス）もできるよいと思う。
- ・交流人口も増えているが、ほかの地域も含めて、県内を一日ゆっくりと周遊できるコースの設定があるとよい。
- ・都会の家庭にとって、地域に魅力があるような教育システムがあれば、社会増につながるのではないかと。
- ・空き教室の活用など子どもが過ごすのに利用できる空間の整備についても、地域差がないように検討できないだろうか。
- ・働く女性をはじめとして、（放課後児童保育の時間延長などの）自分の時間が持てる施策をとっていただければ、結婚・子育てにも前向きに考えられるのではないかと。
- ・女性のM字カーブ解消について、働きたい女性は多いが、子育てとの兼ね合いで、仕事の条件とマッチングしない。
- ・障害のある子どもや、認知症のある高齢者を持つ方が、気軽に相談できる窓口などがほしい。
- ・地域ケアシステムを整備する中でかかりつけ医を決めることを進めているが、医師も看護師も不足しており、仕組みの基盤ができていないのではないかと。
- ・ICTを使った遠方の家族とのコミュニケーションや見守り、高齢者の通院の手段の確保なども必要、女性医師の育児休業明けへの支援も課題。
- ・新総合計画では、子どもを産み育てるに十分な雇用環境、安心して暮らせる生活環境整備、人口減少・少子化を食い止める施策を重点的に講じていただきたい。

(3) パブリック・コメントでの県民意見

【意見の募集結果】

- ① 募集期間 平成30年7月9日(月)～8月8日(水)
- ② 意見提出数 94件(20人)
- ③ 主な提出意見の内容

事項及び概要	件数
<p>◇基本的な考え方に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に総花的で特徴があまりない。もっと項目を絞って選択と集中を図り、日本一を目指すものを増やしてほしい。 ・3つの維新と62の重点施策について、限られた予算と時間の中で、重要度の整理と順位付けが必要ではないか。 	4
<p>◇プロジェクトや重点施策等に関するもの</p> <p>【産 業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業や漁業の就業者が減少しているとあるが、県民に必要な食料は、できるだけ県産で賄えるような体制を作っていただきたい ・工業だけでなく商業なども含めて、県内企業を成長させるための支援や県外からの企業の誘致に力を入れて、多くの人が集まる県にして欲しい ・中小企業や介護施設で大変な人手不足の状態にあると聞いている。仕事を求める人と求人のニーズが合っていないのではないか。対策が必要。 ・働き手を女性や高齢者、障害者など幅広く求め、様々な人が活躍できるようにすることが必要。山口で職を求める人に山口の職を確実に提供できるようにしていただきたい ・AIやIoTなど、新しいものがどんどん出てくる中で、人手や資金の面で厳しい中小企業がこういうものに対応していくのは大変。中小企業が新たな技術を入れて、時代の変化に対応していくために、スムーズな導入の実現や経営力の強化に繋げるような手助けが必要だと思う。 ・子どもに県内の企業に就職してもらいたいと思っている。自信を持って薦められる地元の企業を増やしてほしいので、将来性のある中小企業への支援を強化してほしい ・地元の企業には、製造業が多いがIT系はほとんどない。AIなどの技術のこれからの進歩を考えれば、IT系の企業を増やしていくことが必要だし、若者の増加にもつながる <p>【交 流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口県には、秋吉台や角島などの豊かな自然、湯本温泉などの多くの温泉、観光客が豊かな自然を体験し、温泉で癒されるといった旅行を作って、全国にPRしていけばよいのではないか ・重点5市場とされているアジア各国からの誘客も引き続き重要であるが、今後一層の増加、また長期滞在が見込める欧米豪の旅行者についても、県として積極的に取り込んでいくことが必要 ・県産品の販路拡大は、地域経済の活性化のために重要。東南アジアでは日本製品の購買意欲が高まっていると聞いており、国内だけでなく海外への販路開拓にもしっかりと取り組んでほしい。 ・空港や新幹線の停車駅数は充実しているのに、そこから観光地等へ向かう 	60

交通アクセスが不便であり、改善が必要

- ・サイクリングは子どもから高齢者まで、幅広い年代で楽しめるスポーツであり、人気も高まっている。サイクル県やまぐちの取組をしっかりとPRしてほしい。道路や休憩場所など、環境整備もしっかり進めてほしい
- ・クルーズ船の寄港回数が増えているのは結構だが、クルーズ客は県外に行ってしまうと言われており、県内観光客の増加につながっていないと聞く。地元経済活性化につながる取組を行うべきではないか
- ・中国地方の岡山空港や米子空港では、国際定期便を誘致して外国人観光客を増やしている。山口県も積極的に国際定期便を就航させてほしい
- ・伝統文化等を継承している方が高齢化していると聞く。若い世代が伝統文化を継承し、将来世代に引き継げるような対策が必要である
- ・国内や海外からの観光客の誘致に取り組んで欲しいが、観光客のニーズがいろいろあって、戦略が難しいと思う。観光客の増加に結びつく有効な取組をお願いしたい

【生活】

- ・中山間地域は豊かな自然や農林水産物などの恵みにあふれており、これらをしっかりと活用しながら、若い人の定住促進につなげるなど、中山間地域の活性化につなげてほしい
- ・介護など福祉に携わる人手が不足している。人材の育成はもとより、職場環境の改善など、福祉職場で働きやすい環境を整えていくべきではないか
- ・ビッグデータの活用が様々な分野で進んでいるが、高齢化が進む中で健康寿命を延ばすために、健康データ等のビッグデータを活用した先進的な取組を進めてはどうか
- ・子育てしやすい県づくりのために、保育所の整備はもちろん、社会全体で子育てをしていく気運作りが重要ではないか
- ・コミュニティ・スクールをしっかりと地域と連携して取り組んでほしい
- ・県内には山間部等に携帯電話が繋がらない地域が多い。持続可能な地域づくりを進め、人口流出に歯止めをかけるためには、不通地域を解消し、通信環境を確保することが必要
- ・緊急時には住民が躊躇せず避難できる体制づくりなど、被害の防止や軽減に直結するような防災対策を進めるべき
- ・働きながら子どもを育てたいというニーズは大変高い。保育園や放課後児童クラブの待機児童数をゼロにするという指標があるが、これを達成できるようにしっかりと対策してほしい。
- ・県全体で健康づくりを進めて健康寿命を伸ばすには、個人の行いや姿勢を県民全体に広げなければならない
- ・山口ゆめ花博の成功を期待している。そして、これをいいかたちで今後につなげていって欲しい
- ・山口県の未来を支えることになる子どもたちを育成するために、教育には力を入れて欲しい
- ・進学や就職で県外に出てしまい、戻って来ないのは残念に思う。義務教育から高等教育、就職まで、子どもたちに山口県の魅力が伝わり、県内で夢や希望に沿った教育内容や就職先を提供できる仕組みが欲しい
- ・うそ電話詐欺で高齢者がお金をだまし取られたという事件がまだまだ起きている。何とか被害を撲滅できる手立てはないものか

<ul style="list-style-type: none"> 山口県にはシンフォニア岩国をはじめ、質の高い文化ホールがある。文化ホールについてプランに記載し、その可能性を認識するとともに、文化的な魅力を大いに発信すべき 行財政基盤の強化について、改革に「着手」は成果ではない。着手した結果の成果を書くべき 	
<p>◇成果指標に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの成果指標が並んでいるが、目標値の考え方や、達成することの意味が分かりにくいものもある。指標の詳しい説明が必要ではないか 	5
<p>◇分かりやすい記載等を求めるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点施策の取組の内容がイメージできるような図や写真を入れるなど、見やすく分かりやすくした方がよい 中に写真や図があった方が分かりやすい 「本県の強みと潜在力」や「県の主な取組」などを、若い世代、特に子供たちにも読んでもらえるよう、子ども向けのパンフレットを作成してほしい まさに維新のプランにふさわしい表紙のデザインがあると良い 西暦と和暦の表記が混在しているので、両方掲載するなど工夫してほしい グラフの内容が、全国のものか山口県のものか分からないものがあるので、分かるようにしてほしい 分かりにくいので図などを入れてほしい プラン全体はかなりボリュームがあるので、概要が分かる簡易なものを作成してはどうか 	25

(4) 市町

事項及び概要	
<p>◇プロジェクトや重点施策等に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> バスが路線バスに限定されているが、市町が運行しているコミュニティバスについても併記すべき 教育環境の整備と学校安全対策の推進中「複式学級の解消による教育環境の整備」を追加していただきたい。 中山間の取組（地域経営会社、ビジネスづくり）については、ワインづくりの特区など、ハマった例がある。第1号にしてもらいたい 少子化対策について、若者の結婚・子育てに対する意識改革が必要。結婚し子供を持つことは、メリットがあるとかないとかいうことではない。年寄りが若者に結婚を勧めにくいような風潮も問題 公の施設の見直しの検討状況はどうか 	

2 国の動きや政策の方向性

《主な国の動きや政策の方向性》

1. 「骨太方針 2018」における「力強い経済成長の実現に向けた重点的な取組」

(1) 人づくり革命の実現と拡大

- ・ 幼児教育無償化やリカレント教育の推進など人材への投資、女性活躍や高齢者雇用の推進など多様な人材の活躍を推進

(2) 生産性革命の実現と拡大

- ・ AI、IoTなど第4次産業革命の新たな技術革新により、経済社会のあらゆる場面で新たな展開を実現

(3) 働き方改革の推進

- ・ 長時間労働の是正、同一労働同一賃金の実現、高度プロフェッショナル制度の創設、最低賃金の引き上げ等を推進

(4) 新たな外国人材の受入れ

- ・ 新たな在留資格を創設するほか、政府基本方針・業種別受入方針、在留資格変更の円滑化、受入れ環境を整備

2. 「未来投資戦略 2018 - 「Society 5.0」 「データ駆動社会」 への変革 -」における重点分野、フラッグシップ・プロジェクト

◆ 次世代モビリティ・システムの構築

- ・ 無人自動運転による移動サービスの実現(2020年)
- ・ まちづくりと公共交通の連携、新たなモビリティサービスのモデル都市・地域構築

◆ 次世代ヘルスケア・システムの構築

- ・ 個人の健診・診療・投薬情報を医療機関等の中で共有するための工程表策定
- ・ 「認知症の人にやさしい」新製品・サービスを生み出す実証フィールドの整備

◆ エネルギー転換・脱炭素化に向けたイノベーション

- ・ エネルギー制御、蓄電、水素利用等の技術開発、我が国技術・製品の国際展開

◆ FinTech/キャッシュレス化

- ・ 金融・商取引関連法制の機能別・横断的な法制への見直し、QRコード⁶のルール整備等

◆ デジタルガバメントの推進

- ・ デジタルファースト一括法案の提出、ワンストップ化・ワンズオンリー化推進

◆ 次世代インフラ・メンテナンス・システム

- ・ 建設から維持管理のプロセス全体の3次元データ化
- ・ 要求水準(性能、コスト等)を国が明示するオープンイノベーションの積極活用

◆ 農林水産業のスマート化

- ・ あらゆる現場でAI・ロボット等の社会実装推進(ノウハウ伝承、無人化・省人化)

◆ まちづくりと公共交通・ICT活用等の連携によるスマートシティ

- ・ 「コンパクト・プラス・ネットワーク」加速、モデル都市構築

◆ 中小・小規模事業者の生産性革命の更なる強化

- ・ IT・ロボット導入の強力な推進、経営者保証ガイドラインの一層の浸透・定着